

## D 医療×パーソナルトレーナー

詳しくは  
p.98へ

身体の専門家として、治療もできるパーソナルトレーナーを目指す。

フィットネスと医療（柔道整復または鍼灸）の学びと強みを掛け合わせ、お客様の健康をより強固に変える稀少な人材を育成します。リハビリや機能訓練指導に対応できる柔道整復師、または心身のコンディショニングへのアプローチが可能な鍼灸師の理論・技術を備えた、「治療ができるパーソナルトレーナー」を目指します。

パーソナルトレーナーコース

+

柔道整復学科

or

鍼灸学科

## E 英語×アスレティックトレーナー

詳しくは  
p.100へ

英語を武器にプロの舞台で活躍できるアスレティックトレーナーを目指す。

近年、外国人指導者や選手が来日し、プロスポーツの現場で働く機会が大幅に増加していますが、日本には英語が話せるスポーツ人材がまだまだ不足しています。一方、昨今は日本人トレーナーの仕事ぶりが海外で評価されており、国際舞台で活躍するチャンスも。英語でスムーズにコミュニケーションが取れる競争力の高いトレーナーを育成します。

外国語学科

+

アスレティックトレーナーコース

## F 英語×スポーツ

詳しくは  
p.102へ

グローバル化の進むスポーツ現場で活躍する選手、コーチ、審判を目指す。

コーチ、審判など選手や試合を支えるスタッフも国際大会で活躍する機会が多くなっています。また、インストラクターが英語での運動指導を求められる場面も増えてきました。その際に求められるのは、情報共有やコミュニケーションを図るための語学力。本校は言語の壁を乗り越え、国際舞台で輝く日本のスポーツ人材を育成します。

野球コース or バasketボールコース or ソフトテニスコース or サッカーコース  
or パーソナルトレーナーコース or フィットネスインストラクターコース

+

外国語学科

## G 英語×医療

詳しくは  
p.104へ

医療国家免許を、グローバル化の進む医療現場で活かせる人材を目指す。

医療の世界にも“Made in Japan”のブランドがあり、丁度できめ細やかな仕事は海外でも評価されています。近年は、日本の医療技術を求める外国人患者の増加を受け、各医療機関で英語が話せる医療スタッフのニーズが高まっています。現場を想定した英会話など、医療に特化した英語学習環境を提供し、医療人としての活躍の場を広げます。

外国語学科

+

理学療法学科

or

柔道整復学科

or

鍼灸学科

## ダブル・ラーニング一覧表

キャリアの幅が大きく広がる、  
全39通りの組み合わせ。

## A 競技×医療

詳しくは  
p.92へ

競技者の心身を理解し、サポートできる医療人を目指す。

高いレベルの競技経験を持ち、ケガに苦しむ選手たちの気持ちをもっと知っていることは、医療人としての大きな強みにもなります。履修内容は、特定の競技を専門的に学びつつ、卒業時に医療国家免許が取得できるように構成されており、将来は競技者の心身を理解し、サポートする“体育系医療人”として、社会で活躍できる人材を目指します。

野球コース or バasketボールコース or ソフトテニスコース or サッカーコース

+

理学療法学科

or

柔道整復学科

or

鍼灸学科

## B 競技×スポーツトレーナー

詳しくは  
p.94へ

特定の競技に強い、より専門的なスポーツトレーナーを目指す。

アスレティックトレーナー、パーソナルトレーナー、S&C（ストレングス&コンディショニング）トレーナーは、「特定の競技に特化した」知識・スキルを持っていることが本人のみならずチームにとっても大きなアドバンテージとなるケースがあります。競技とトレーナー双方の知識・スキルを深く学び、より専門的なトレーナーを目指します。

野球コース or バasketボールコース or ソフトテニスコース or サッカーコース

+

アスレティックトレーナーコース

or パーソナルトレーナーコース or フィットネスインストラクターコース

## C 医療×アスレティックトレーナー

詳しくは  
p.96へ

医療国家免許を取得し、即戦力として活躍できるトレーナーを目指す。

結果が求められるスポーツの世界では、身体を酷使した結果、スポーツ障害に苦しむ選手も少なくありません。そんな選手たちをケアできるのは、施術行為が認められる医療国家免許を有するトレーナーのみ。医療系学科在籍中にアスレティックトレーナー資格を取得し、医療との両面からアスリートを支えられる即戦力として、世に出ることが可能です。

理学療法学科 or 柔道整復学科 or 鍼灸学科

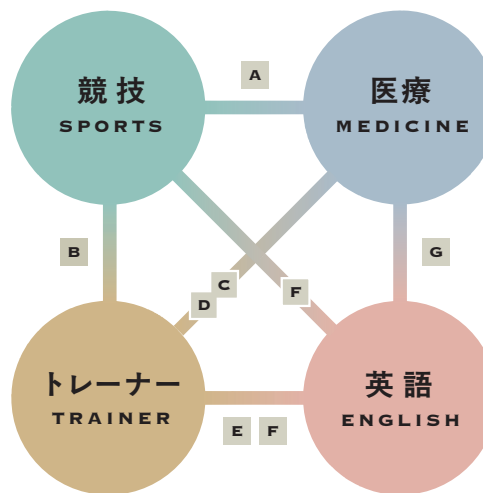
+

アスレティックトレーナー（選択科目）



## ダブル・ラーニング制度について

この先のスポーツ界・医療界をリードするハイレベルな人材を育成するために。  
「ダブル・ラーニング制度」は、学科やコースの垣根を飛び越え、複数の専門分野を自由に組み合わせて学ぶことのできる履正社独自の履修カリキュラムです。



4つの分野を自由に組み合わせて学ぶことで、  
将来の幅を広げることができます。  
7パターン、39通りの組み合わせの中から、  
希望進路にぴったりの学びを見つけてください。

A	競技×医療
B	競技×スポーツトレーナー
C	医療×アスレティックトレーナー
D	医療×パーソナルトレーナー
E	英語×アスレティックトレーナー
F	英語×スポーツ
G	英語×医療

## 競技スポーツ×医療の文武両道を目指す、 “体育会系医療人”になろう。

### 理学療法学科

バスケットボール × 理学療法士

まるやまけい た  
**丸山敬大さん** (大阪府立枚方津田高校出身)

理学療法士を目指し学校選びをする中で、バスケットも続けられる履正社を選びました。チームメイトに「身体が痛い」と相談を受けた時、医療の知識を生かして「この筋肉が原因かも?」と簡単なアドバイスができるようになりました。夜間部は、僕と同じように競技と両立する以外に、働きながら学ぶ人など、いろんなクラスメイトがいて刺激を受けています。



VOICE

### 柔道整復学科

ソフトテニス × 柔道整復師

こなすかわ なな  
**小茄子川 夏月さん** (秋田令和高校出身)

小学生のときに出会った憧れのトレーナーさんのもとで選手をサポートするのが夢です。ソフトテニスコースは練習メニューや大会も豊富で、競技に専念できる環境でした。柔道整復学科の学びは、身体の構造など覚える知識が多いですが、ケガにすぐ対応できる技術が身につきます。両立が大変な時もありますが、仲間の存在が励みになり頑張れます。



VOICE

### 鍼灸学科

野球 × 鍼灸師

よつじりゅうへい  
**四辻龍平さん** (篠山鳳鳴高校出身)

高校時代、肘のケガがきっかけで鍼灸師の仕事を知り、「なぜ鍼はこんなに効果があるのだろう」と興味を持ちました。履正社は先輩が進学していたことと、経験豊富な先生方がいることが決め手でした。授業で学んだ関節の知識が、野球の正しいフォームへの意識にもつながっています。卒業後は鍼灸院やスポーツ現場で経験を積み、いつか自分の治療院を開業したいです。



VOICE

## 競技×医療



競技

×

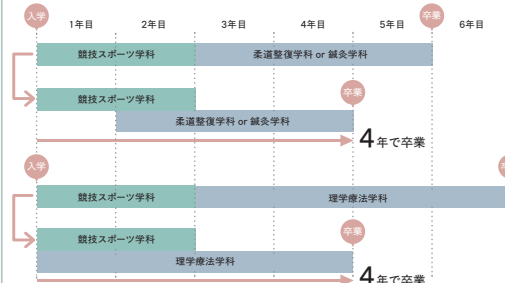


医療

### 学びのポイント KEY POINTS

#### ① 「1～2年早く」卒業できる。

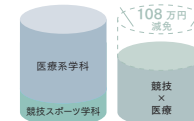
競技スポーツ学科(2年制)と医療系学科(3～4年制)の合計5～6年間のカリキュラムを、あわせて4年間で修了できます。スポーツを思う存分続けながら医療国家免許の取得を目指すため、部活動経験者に人気の「文武両道」ルートです。



#### ② もれなく適用される「学費108万円」減免。

「競技×医療」の履修者には、全員に大幅な減免を適用。

競技スポーツ学科の1年分の授業料と施設設備費をあわせて98万円にプラスして、医療系学科入学金のうち10万円を免除します。



#### ③ 希望する医療免許は、入学後に再選択できる。

入学後に視野や関心が広がったことで、入学前に希望していたものとは異なる医療国家免許の取得を考える可能性もあります。本当に自分にマッチした進路を選ぶよう、1年目には柔道整復学科、鍼灸学科の教員が、理解を深めるための基礎授業を行います。そして、医療の基礎知識をはじめ、免許ごとの特徴や違いを把握した上で、進路を選び直すことができます。

※理学療法学科については、1年目より授業が始まります。

### カリキュラムのしくみ

1年目は、競技スポーツ学科(野球、バスケットボール、サッカー、ソフトテニス)で、理論と実技の両面からスポーツを学びます。

2年目は、午前中は競技スポーツ学科で授業を受け、午後は医療系学科(柔道整復学科、鍼灸学科)の授業を受ける“二階建て”の時間割。

そして3年目以降は医療系学科の学習一本で、国家免許取得を目指します。

※理学療法学科選択者は、1年目から午前中は競技スポーツ学科、午後(夜間)は理学療法学科で学びます。

## 選手とスポーツトレーナー、 両方のスキルを磨くことの強みとは。

サッカー × アスレティックトレーナー

2022年卒業

ちば  
**智葉そらのさん**

FC今治レディース アスレティックトレーナー  
(日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー)

2000年生まれ、愛媛県出身。広島文教大学附属高校を卒業後、本校へ。サッカーコース在籍時は女子選手の提携先(※当時)、スベランツァ大阪でプレー。その後FC今治レディースでの選手活動を経て、22年12月に現役を引退した。現在は同チームの専属トレーナーを務めている。



将来はサッカーに関わり、できるだけピッチに近い場所で働きたい。そう考えたとき、トレーナーの仕事に興味を持ちました。母が履正社専門を探してくれ、「ここならサッカーとトレーナーの勉強を両立できる」と進学を決めました。入学後はスベランツァで選手登録していただき、午前中と週末はプレーヤーとして技術を磨く毎日。2・3年目の午後はATの勉強に励みました。競技とATをダブルで学ぶ強みは、授業で習ったことが実際にフィールドで起きた時、「あの症例だ」と自分の中でつながりやすいことです。履正社での実習時以外でも、スベランツァのトレーナーの方の横についてケアを見せてもらったりと、現場のプロから多くのことを吸収できる恵まれた環境でした。AT試験の勉強は大変でしたが、チームメイトが試合で頑張る姿を見るたび「絶対に試験に落ちるわけにはいかない」と、力をもらったことを覚えています。

バスケットボール × パーソナルトレーナー

2022年卒業

な かばやし ひかる  
**中林 輝さん**

パーソナルトレーナー

2000年生まれ、大阪府出身。大阪府立東住吉総合高校を卒業後、バスケットボールコースへ(旧競技&AT)。卒業後、フィットネスジム勤務の傍らNSCA-CPT等のフィットネス資格を取得。24年4月、本校卒業生と「パーソナルジムNR-ACHIEVE」を立ち上げトレーナーとして活躍中。



現役時代はパフォーマンス向上につながる身体作りが上手いかわず、波のあるコンディションとメンタルにも悩まされました。そんな経験から、選手一人ひとりの要望に沿った、オーダーメイドに近い身体作りの必要性を感じていました。今はパーソナルトレーナーとして、バスケット選手を含めたアスリートにもトレーニングを提供しています。トレーナーとしての自身の強みは、競技特性に沿った動作改善や姿勢矯正を行えること。例えば、走る時の最初の一步目から三歩目までの足のさばき方や、ジャンプする時の姿勢の作り方などを細かくアドバイスします。「シュート率が上がった」「カッティングの動きが鋭くなり、当たり負けしなくなった」等の声をいただき、大きなやりがいを感じています。選手の悩みに寄り添いながら、ケガをしない強い身体と競技力アップを叶える。そんなパーソナルトレーナーが増えることを期待しています。

DOUBLE  
LEARNING

# 競技×スポーツトレーナー



このカリキュラムは、競技とスポーツトレーナー双方の知識・スキルを深く学ぶことによって、特定の競技に強い、より専門的なトレーナーになることを目的としている方におすすめしています。

アスレティックトレーナーは、解剖学や栄養学などの標準知識に基づき、選手の健康管理やケガの予防を行います。それに加えて「その競技に特化した知識・スキルを持つことが、本人のみならずチームにとっても大きなアドバンテージとなるケースもあります」。

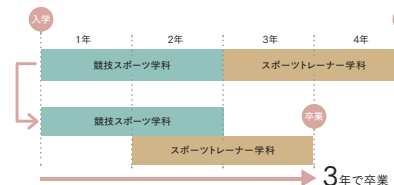
また27年度より、パーソナルトレーナーまたはフィットネスインストラクターの学びも履修が可能になりました。一対一指導の専門家であるパーソナルトレーナーは、アスリートを顧客に持つことも珍しくなく、競技力向上に特化した筋力トレーニングを提案するための知識と技術を磨きます。集団指導のプロフェッショナルであるフィットネスインストラクターは、ヨガ、ピラティス、幼児体育等、扱えるプログラムと対象者も幅広く、活躍の場が広がります。

3年間という限られた時間の中で、効率よく競技とトレーナーの学びを両立させる。そのためのも恵まれた環境が整っています。

## 学びのポイント KEY POINTS

### ① 「1年早く」卒業できる。

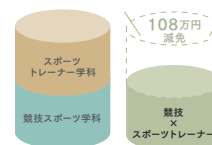
競技スポーツ学科(2年制)とスポーツトレーナー学科(2年制)の合計4年間のカリキュラムを、あわせて3年間で修了できます。競技スポーツ学科で競技力を高めながら、スポーツトレーナー学科で各種トレーナーを目指します。



### ② もれなく適用される「学費108万円」減免。

「競技×スポーツトレーナー」の履修者には、全員に大幅な減免を適用。

競技スポーツ学科の1年分の授業料と施設設備費をあわせた98万円に加え、スポーツトレーナー学科入学金10万円を免除します。



## カリキュラムのしくみ

1年目は競技スポーツ学科(野球、バスケットボール、サッカー、ソフトテニス)に入学し、理論と実技の両面からスポーツを学びます。2年目は競技スポーツの授業とスポーツトレーナー学科(アスレティックトレーナー、パーソナルトレーナー、フィットネスインストラクター)の授業を並行して履修する「二階建て」の時間割。そして3年目はスポーツトレーナー学科の学習一本で、資格取得を目指します。

### ③ プロチーム、有名ジムとのパートナーシップ。

アスレティックトレーナーコースでは、カリキュラム終了後に、プロスポーツチームのトレーナーとして働くインターン制度があり、さまざまなチームと包括契約を結んでいます。パーソナルトレーナーコースは「ゴールドジム」とのパートナーシップがあり、どちらも在学中から実践的な知識と経験を積むことが可能です。



## VOICE

活躍したい領域に合わせ、選べる3つのプラン。  
あなたはどのスペシャリストを目指す？

理学療法士 × アスレティックトレーナー = 早期復帰のスペシャリスト

ケガをさせないトレーナーになりたい。

VOICE



ありやま ちか  
**有山千花さん**  
理学療法学科（兵庫県立芦屋高校出身）

高校時代にケガで、大好きなバスケットを続けるのが難しくなりました。それでもバスケットに関わりたいたいと、手術後に理学療法士さんに支えていただいた経験から、理学療法の知識を持ったATを志すようになりました。将来は動作分析の視点を活かし、選手にケガをさせないトレーナーになりたいです。



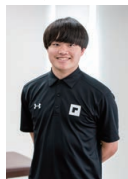
SPECIAL POINT

選手がスポーツ障害によって手術を受けた場合に、術後の早い段階から競技復帰までのリハビリテーションを行います。選手が安心してリハビリに取り組み、速やかに競技復帰できるよう、責任をもって指導します。

柔道整復師 × アスレティックトレーナー = 現場対応のスペシャリスト

外傷処置ができるトレーナーになりたい。

VOICE



ふじ た しろう こ  
**藤田将伍さん**  
柔道整復学科（奈良県立高田高校出身）

ラグビーをしていた高校時代、選手を近くで支えるトレーナーに憧れ、現場で外傷処置ができるトレーナーを目指すようになりました。骨や筋肉に関する柔道整復の知識は、ATの活動にも役立ちます。身体の仕組みをイメージして、トレーニング指導ができる点も楽しみです。



SPECIAL POINT

試合や練習中に選手が負傷（骨折・脱臼・捻挫など）した場合には、早期の段階でケガの処置を行うことが可能です。悪化を防ぐことがケガの早期回復につながり、後遺症のリスクを軽減させ、貴重な選手生命を守ります。

鍼灸師 × アスレティックトレーナー = コンディショニングのスペシャリスト

オリンピック選手に帯同したい。

VOICE



み な み た か ひろ すぎ  
**溝渕雄亮さん**  
鍼灸学科（大阪府立四條畷高校・同志社大学出身）

水泳の選手時代、コンディショニングを整えるためにトレーナーさんと鍼灸師さんが不可欠な存在でした。自分も選手を支える仕事に就きたくて、両資格を3年で取得できる履正社を選びました。双方の知識がリンクする授業も多くて面白いです。将来は開業し、オリンピック選手に帯同したいです。



SPECIAL POINT

筋肉の緊張を緩め、疲労を取り除くことでケガを予防します。また、痛みのコントロールだけでなく、精神的ストレスを軽減する、内科疾患などによる症状を和らげるなど、幅広く選手をケアすることが可能。選手をベストコンディショニングに導きます。

C

DOUBLE  
LEARNING

医療 × アスレティックトレーナー



医療

×

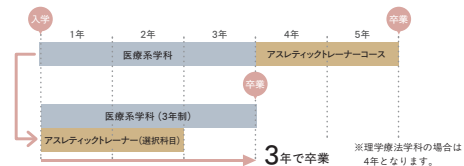


トレーナー

学びのポイント KEY POINTS

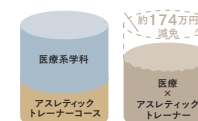
### ① 「2年早く」卒業できる。

医療系学科（3～4年制）とアスレティックトレーナーコース（2年制）の合計5～6年間のカリキュラムを、最短3年間で修了できます。また本校は、理学療法士の国家免許と日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格を両方取得できる全国でも数少ない学校です（大学を含む）。



### ② もれなく適用される「学費174万円」減免。

「医療×アスレティックトレーナー」の履修者には、大幅な減免を適用。アスレティックトレーナーコース2年分の授業料、施設設備費、入学金、実習費、活動費などをあわせて、合計約174万円が減免されます。



### ③ 「医療国家免許とアスレティックトレーナー」、両資格を保有している教員が多数在籍。

本校には、医療国家免許と日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格の両方を保有する教員が多数在籍しています。両分野を熟知している指導者の知識とノウハウを直接学びながら、資格のダブル取得を目指す貴重な環境が整っています。



横塚 大輔 先生  
はり師・きう師 ×  
アスレティックトレーナー



井口 奈保美 先生  
理学療法士 ×  
アスレティックトレーナー



西川 泰己 先生  
理学療法士 ×  
アスレティックトレーナー



篠浦 達智 先生  
柔道整復師 ×  
アスレティックトレーナー



木村 優花 先生  
柔道整復師 ×  
アスレティックトレーナー

※掲載している教員は一部です。

カリキュラムのしくみ

医療系学科（理学療法学科、柔道整復学科、鍼灸学科）のいずれかに入学し、国家免許取得のための勉強と並行して、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格の取得も目指します。

医療系学科に在籍中にアスレティックトレーナー資格の勉強ができるので、3年～4年でのダブル資格取得が可能です。



## パーソナルトレーナー×柔道整復師・鍼灸師には、 どんなポテンシャルがありますか？



とくなが かづや  
徳永加津也さん

柔道整復師

「とくながパーソナルトレーニング整骨院」代表。本校柔道整復学科卒業後、土居整形外科勤務を経て2025年に独立。トレーナーとして、アスリートのケアやパフォーマンスアップも行う

整形外科で働く柔道整復師として10年間、経験を積んできました。障害を負った方の機能回復をサポートする中で感じたのは、運動療法の大切さと継続の難しさです。

患者様には通院終了後にも運動療法を続けて欲しいのですが、自宅では行いづらいのが現実。筋力の強化や関節を動かす訓練といった身体機能の維持・向上を、パーソナルトレーニングで補えばと、独立開業の際、院内にトレーニングマシンを導入しました。

トレーニングを行う際は、リスク管理が必要です。肉体的な知識があれば「こういう疾患をお持ちなら、この運動はできないな」と、既往

歴を考慮したきめ細かなトレーニングの提供が可能です。また一見、疾患を抱えていないように見えても、お話をしているうちに「股関節に痛みがある」等と、症状を訴える方もいます。そういった場合は柔道整復師として診察させてもらい、近隣の整形外科に紹介する医療移設連携も行っています。

スポーツ選手にトレーナーがいるように、一般の患者様にも機能回復の先にある身体ケア、再発予防のためのトレーニングを行える伴走者が必要になる時代です。医療的根拠に基づいたプログラムを処方できる稀少なトレーナーを、ぜひ目指してください。



すだま きさと  
杉山匡人さん

PHIビラティスマスタートレーナー  
日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー  
はり師・きゅう師

PHIビラティスジャパン本部のマスタートレーナーとして本校で指導するほか、ボディメイクを目的とされる一般の方からアスリートまで、様々なクライアントへのパーソナルレッスンを担当する

ある研究論文によると、パーソナルトレーニングを利用する理由に、「身体を鍛える」ことより「不調をどうにかしたい」という要望の方が多かったというデータがあります。実際に、私が所属するスタジオにも何かしらの不調や痛みを抱えた状態で来られるお客様は少なくありません。

鍼灸はまず、それらの不調をゼロベースにすることができます。ただし、整形外科的な痛みや不調の原因は普段の生活の中での動きにあるので、まずはここをクリアにしないと元に戻ってしまう。痛みを取った後はお客様に不調の原因を取り除いてもらうため、フィット

ネスが得意とする運動療法が活きてきます。私の場合は単純な筋力強化やストレッチではなく、ビラティスで正しい姿勢や身体の使い方や動かし方を学んでもらい、痛みを抱えている場所に負荷がかからない動きを覚えてもらった上で身体づくりを行います。

また、医療免許があれば「今日は運動がづらい」という日でもこま回しいただき、身体の状態を診てから治療することもできます。

お客様がどんな体調でもきめ細かなサポートができ、運動を続けられるお手伝いをする。そんな柔軟な対応力を備えたトレーナーになれるはずです。



もとみやま よこ  
本山小容子さん

PHIビラティスインストラクター  
ヨガインストラクター  
はり師・きゅう師

本校の旧ウエルネススポーツ科トレーナーコースを卒業後、フィットネスクラブ勤務を経てフリーランスのビラティスインストラクター、ヨガインストラクターに。その後、鍼灸学科へ再入学し2020年卒業

履正社を卒業後、就職先でビラティスとヨガの指導を学び、現在はフリーランスのインストラクターとして活動しています。鍼灸師の免許を取得しようと思ったきっかけは鍼灸師の友人に治療を受けたこと。てい鍼（打たずに当てるだけの鍼）だったのですが、とてもスピーディで身体への負担がなく、施術後にビラティスやヨガをすると身体の軸を意識できて重心が変わり、安定感が出ました。

ビラティスやヨガは身体の軸が重要です。エクササイズしながら軸を作っていく前に、鍼灸治療である程度整えておけば、お客様がすぐに動作に意識を向けられるのも利点だと

思います。また、私のお客様は鍼よりお灸が好きの方が多く、「身体を温め、痛みを緩和してからのほうが動きやすい」とのお声をよくいただきます。鍼灸でしっかりと動く準備ができると、レッスンの限られた時間を有意義に使えます。さらにお灸での施術はお客様にセルフケアの提案もしやすく、「疲れが取れた」「よく眠れた」と、身体を休めることにも役立っていただいています。

また鍼灸師の資格は、結婚や出産といったライフイベントにも対応するキャリアを築けることも魅力。将来の働き方に幅ができるのも、大きなメリットだと思います。

## 医療×パーソナルトレーナー



トレーナー

×

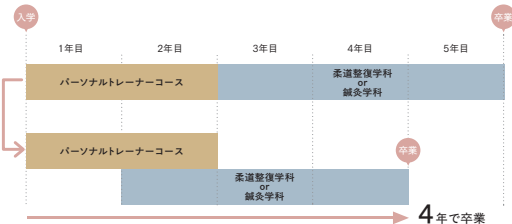


医療

### 学びのポイント KEY POINTS

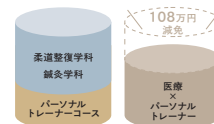
#### ① 「1年早く」卒業できる。

パーソナルトレーナーコース（2年制）と医療系学科（柔道整復学科または鍼灸学科、いずれも3年制）の合計5年間のカリキュラムを、あわせて4年間で修了できます。フィットネス関連の知識、実技を習得しながら医療国家免許の取得を目指せます。



#### ② もれなく適用される「学費108万円」減免。

「医療×パーソナルトレーナー」の履修者には、全員に大幅な減免を適用。パーソナルトレーナーコースの1年分の授業料と施設設備費をあわせた98万円にプラスして、医療系学科入学金のうち10万円を免除します。



#### ③ 現場実践力を高める豊富な実習。

柔道整復学科では治療院や介護福祉関連施設での実習を通じ、治療や介護の現場で求められる知識と実技を習得します。鍼灸学科はスポーツ現場での実習のほか、3・4年目に「トータル美容ゼミ」が履修可能（希望選択制）。美容に特化した鍼灸が学べます。これらにパーソナルトレーナーコースでの豊富な現場実習が加わることで、お客様のニーズに合う多彩な運動療法の提供を目指します。



## 英語×アスレティックトレーナー



## カリキュラムのしくみ

1年目は外国語学科に入学し、英語でのコミュニケーションを基礎から磨きます。  
2年目は、午前中は外国語学科の授業を、午後はアスレティックトレーナーコースの授業を受ける“二階建て”の時間割。  
そして3年目はアスレティックトレーナーコースの在籍となり、日本スポーツ協会公認AT資格試験の合格を目指します。

近年、外国人指導者、スタッフ、選手が来日し、日本のチームやクラブで働く機会が飛躍的に増えています。にもかかわらず、我が国には英語が話せるスポーツ人材がまだまだ不足しているのが現状。つまり、大きな需要が目の前にあるということです。

アスレティックトレーナー資格も、現場で本当に使える英語力を掛け合わせることで、新たな活躍するフィールドと就職先の幅は何倍にも広がります。

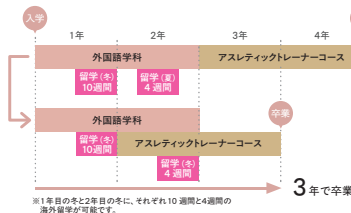
このカリキュラムは、英語の習得を目指しつつ、卒業後には日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格を得られるように構成されています。本校は、在学中にTOEIC 970点を取得し、ラグビーのプロチームに通訳兼トレーナーとして就職した卒業生を、開設初年度から輩出しました。

英語の授業は、卒業後のキャリアに直結するよう、常に「本物の現場」とつながっています。計2回行くことが可能な海外留学では、語学学校に行くだけではなく、現地のスポーツチームでトレーナーなどとしてインターン。そして在学中からプロチームの現場を体験することで、圧倒的な経験を積むことができます。

## 学びのポイント KEY POINTS

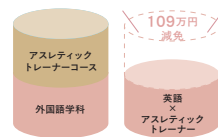
## ① 「1年早く」卒業できる。

外国語学科(2年制)とアスレティックトレーナーコース(2年制)の合計4年間のカリキュラムを、3年間で修了。時間も学費も、大幅に効率化できます。現場で使える英語力と、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格はどちらも「一生もの」の武器。その2つを3年の短期集中で身につけることは、未来への最高の投資と言えるかもしれません。



## ② もれなく適用される大幅な減免。

「英語×アスレティックトレーナー」の履修者には、全員に大幅な減免を適用。外国語学科1年分の授業料、施設設備費、アスレティックトレーナーコースの入学金をあわせた109万円を減免します。



## ③ プロチームとの包括的なパートナーシップ。

外国語学科とアスレティックトレーナーコースでは、プロスポーツチームと提携しています。プロスポーツ現場でどのように英語でのコミュニケーションが行われているかを知り、実習を通して実践的な英語力を磨きます。修了後には、プロチームでインターンとして働く制度もあります。



## 特別対談

チームに貢献するための  
大きなチャンス。

エディー・ジョーンズ  
(ラグビー代表監督)

1960年、オーストラリア生まれ。これまでに監督としてW杯準優勝2度、スタッフとして優勝を1度経験している世界的名將。日本代表監督として、2015年W杯で南アフリカ代表を破る大金星を挙げた。2024年、再び日本代表監督に就任

佐藤秀典  
(外国語学科GM・ラグビー日本代表通訳)

1981年、東京都生まれ。10歳で渡米し、現地の高校を卒業後、帰国して通訳の道に。これまでラグビー・リーグワンの複数のチームで通訳を担当してきた。2015、2019年W杯に続き、現在もラグビー日本代表の通訳としてチームを支えている

現在、プロスポーツチームや日本代表チームが求めているのは、「英語が話せる人材」だ。それはアスレティックトレーナーも例外ではない。ラグビー日本代表のエディー・ジョーンズ監督と、外国語学科GMで同代表の通訳も担当する佐藤秀典先生が、日本のスポーツ専門人材に求めている英語習得の重要性、そして英語がチームにもたらす価値について、本音を語りあった。

佐藤 監督が見て、「この人はチームに欲しい」というスタッフは、どんな人材ですか？  
エディー チームに対して本気で積極的に関わろうとする人ですね。自分の存在価値を高めるために、スポーツの仕組みを背景から学び、世界の他の人たちはどのようにそのスポーツに取り組んでいるかを学びたいと思う好奇心にあふれる人たちがです。グローバル化が進む現在、それは代表チームであらうが、国内のチームであらうが同じです。

佐藤 好奇心ですか。  
エディー チームの勝利に貢献するには、世界で何が起きているかを知らなければいけません。そのためにも通う言語を、スポーツ界なら多くの場合、英語を学び、英語でコミュニケーションすることを受け入れなければなりません。だから好奇心が必要ですね。今、多くの日本人スタッフをみて残念なのは、彼らは現状で満足し、「本当にチームの勝利に貢献したい」という意欲が薄く、語学に対する意欲が欠けていることです。佐藤 なるほど。さらに言えば、スポーツ現場で求められる英語と一般的な英語は別物という認識を持っていない人も多いように感じます。エディー そうですね。フィールド上ではとにかく簡潔に、迅速に伝えられることが重要です。大切なのは素早く考える力、思考の早さであり、膨大な語学力は必要ありません。アイコンタクト

英語が話せる  
トレーナーであれば。

佐藤 そのようなスタッフがいると、チームにどのような影響がありますか？  
エディー 結束力が強くなります。チームとして、最も重要なことのひとつです。そのように好奇心を持ったスタッフがいること自体が、チームが新しいレベルを目指すことに寄与します。

佐藤 スポーツ業界で働く身としては、英語を習得することだけでなくチャンスが広がるか、多くの苦難を知っているか、という意欲がエディー も日本でラグビーのアスレティックトレーナーになりたいなら、就職先はせいぜい25チームほどです。しかし、就職先を選ばないアスレティックトレーナーであれば、世界中にラグビーだけでなく25チームは働ける場所がある。英語を学ぶことは、チームに貢献するための、そして自身の成長にとっての、大きなチャンスなのです。

※68ページにも、エディー・ジョーンズ監督のインタビューが掲載されています。ぜひご覧ください。

## 英語が話せるから広がる、 キャリアのアドバンテージ。



なかや けんた  
中矢健太さん

スポーツライター、ラグビーコーチ

在阪テレビ局に勤めた後、2024年に本校外国語学科に入学。スポーツライターとして雑誌「Number」や、複数のラグビー専門媒体で活動中。母校・上智大学ラグビー部でコーチも務めている

外国語学科1年次の冬に留学し、オーストラリア・ボンド大学の女子ラグビーチームでアシスタントコーチ（インターン）を経験しました。外国語学科で身につけた英語をアウトプットする実践的な場であり、オーストラリアのラグビー文化をダイレクトに体感する貴重な機会になりました。

ボンド大学ラグビー部は男女ともに強豪校で、練習場やトレーニング施設はプロチーム並み。素晴らしい環境でした。指導陣も優秀なスタッフが揃っていましたが、コーチングやトレーニングに関しては「日本は決して引けを取らない」と感じました。現地が窮乏しているというわけ

ではなく、日本人スタッフならではのきめの細かさといった強みがあるのです。コーチとしての実力に加え、相応の語学力があれば、活躍できるチャンスはきっとあると思います。

また国内プロスポーツチームにおける、外国人監督が占める割合はだんだんと高くなっています。ラグビーのブリーグでは2025年11月時点で75%。バスケットボールで62%、バレーボールは60%と年々進んでおり、グローバル化は待たないです。

英語が話せれば、自分の力を最大限チームに貢献できる。学生時代に鍛える英語は、将来の幅を広げる先行投資と言えるでしょう。



なかむら ふうか  
中村風香さん

国際公式記録員

2015年野球コース卒業。本校で公式記録員の養成指導を行う傍ら、WBSC（世界野球ソフトボール連盟）が取り仕切る試合の国際公式記録員としても活躍中。野球とソフトボールの国際大会に数多く関わる

私は野球の国際公式記録員です。プレミア12やワールドカップ等の国際大会に参加した際、大会運営からの連絡、配布書類、スタッフ間のコミュニケーションはすべて英語が基本です。海外での大会では1試合につき、主に3人の記録員がつかいます。メンバー間で「今のプレーはヒット、エラー、どっちだと思う？」と協議することはしょっちゅう。自分の意見を、根拠を持って発言する必要があります。

また大会期間中は審判団、TC（テクニカルコミッションナー）、運営スタッフなど、多くのスタッフと行動を共にします。多い時は10カ国ぐらいの人が集まる多国籍な現場。雑談の機会も多

く、野球に限らず、大会開催国の文化背景など、様々な話題がのびります。

日本の野球は技術も環境面も成熟していますが、発展途上の国では新しい発見があります。野球文化が進展しない理由、たとえば政治情勢や国の支援制度を知っていくことで、国際感覚も養われます。結果、社会人、野球人としての幅が広がる感覚があります。

今は翻訳アプリなど便利なツールがありますが、やはりコミュニケーションの基本は「自分の言葉で伝えること」。学生のうちからアウトプットできる場があれば、恐れずスタートラインに立つことができます。



たがしら ひろのり  
田頭 壘さん

パーソナルトレーナー

2018年に旧ライフ・フィットネストレーナーコースを卒業後、約1年間カナダとLAに留学。海外のフィットネス文化を直に学ぶ。帰国後、東京都内にある有名スタジオでパーソナルトレーナーの経験を持つ

海外のフィットネス文化を体感するため、履正社卒業後にカナダとLAに留学していました。前職を退職した後も、ニューヨークにショートステイ。ピラティス発祥の地と言われるスタジオで、レッスンに参加しました。この体験を通してピラティスの本質に触れ、帰国後、クライアントに自信を持って説明できるようになりました。

また、気になるトレーニングスタジオをいくつか訪問し「この内装、雰囲気なら、こういう客層が集まる」といった実例を集めました。自分が今後、どんなスタジオをやりたいのか、イメージを形作るためです。

アポイントなしでスタジオ見学を申し込んだ

際、英語が話せるかどうかで明暗がわかっていました。レセプション（受付）で挨拶し、ボンボンと会話を返せると、スタッフはフレンドリーに対応してくれました。ですが、ここで上手く話せないとか「何をしにきたのか」と、門前払いされることも。自分でやりたいことをしっかりと話せた方が、交渉の余地がぐっと広がります。

若いうちに学ぶ英語は成長スピードが全然違います。また留学を決めたら、留学費を稼ぐためのアルバイトなどで忙しくなり、英語の勉強が不十分になるのが現実です。英語とトレーナーの学びを学生のうちに両立しておくことは、最善のルートだと思います。

## DOUBLE LEARNING

# 英語×スポーツ



×

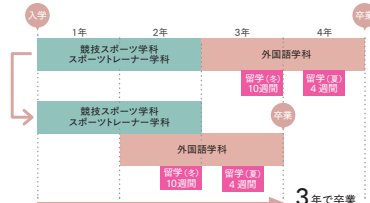


昨今、アスリートをはじめ、指導者、審判、チームマネージャーなど競技スポーツに関わるスタッフが海外で活躍する機会が多くなっています。またトレーナー、インストラクターが英語での運動指導を求められる場面も増えてきました。しかし、自らのスキルを国際舞台で活かすためには、言語の壁を乗り越えなければいけません。本カリキュラムは、アスリートとして、あるいは指導者、審判、パーソナルトレーナー等として、国内だけでなく海外でも活躍できるスポーツ人材を育成するために設置されました。英語を習得し、将来的に海外でのプレーやコーチングを実現したい方には、かなりの履修内容を用意しています。

### 学びのポイント KEY POINTS

#### ① 「1年早く」卒業できる。

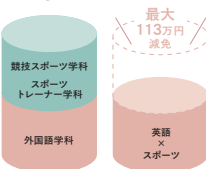
競技スポーツ学科(2年制)もしくは、スポーツトレーナー学科(パーソナルトレーナーコースまたはフィットネスインスストラクターコース、いずれも2年制)と外国語学科(2年制)の合計4年間のカリキュラムを3年間で修了できます。



※2年目の冬と3年目の夏に、それぞれ10週間と4週間の海外留学が可能です。

#### ② もれなく適用される大幅な減免。

「英語×スポーツ」の履修者には、全員に大幅な減免を適用。競技スポーツ学科またはスポーツトレーナー学科1年分の授業料、施設設備費、外国語学科の入学金をあわせた最大113万円を減免します。



#### ③ 他では得られないオリジナルの留学経験。

本カリキュラムでは2年目の冬と3年目の夏、あわせて14週間の海外留学が可能です。語学学校で英語力を伸ばすだけでなく、本校スタッフの人間を活かし、現地でスポーツ関連プログラムに参加することもできる点が特長です。オリジナルの留学経験を通して海外のスポーツ文化を身をもって知ること、自身の進路に大きな影響を与えるはずです。



### カリキュラムのしくみ

1年目は競技スポーツ学科、スポーツトレーナー学科(パーソナルトレーナーコースまたはフィットネスインスストラクターコース)に入学し、専門スキルを磨きます。2年目は、午前中は上記学科・コースの授業を受け、午後は外国語学科の授業を受けます。そして3年目は外国語学科のみの在籍となり、英語での対話能力の完成を目指します。また、計2回の海外留学も可能です。

## 「英語ができる医療人になる」。 こころざしの先にある将来像とは。

理学療法士 在カンボジア病院勤務

うえのともや  
上野友也さん

1984年生まれ、鳥取県出身。畿央大学理学療法学科卒業後、地域医療に携わる。2012年に青年海外協力隊としてアフリカ・マラウイ共和国へ赴任し、理学療法士として活動。2015年、北原国際病院へ入職。翌年、同院がカンボジアに開院した『サンライズジャパン病院』に出向

VOICE

グローバル化が進む社会の中で、英語が話せることはアドバンテージであり、いずれスタンダードになっていくと思います。医療の世界も例外ではありません。経営面で考えても、人口減少の一途をたどる日本において、医療施設もより多くの患者様や外国人労働者の受け入れ体制を整えていかねばなりません。駐在者やメディカルツーリズムなど、外国の方に安心して利用いただくために、英語が使える医療者はますます必要とされるでしょう。また、国外から技能実習生を迎える施設も増え、外国人の同僚がいることも珍しくはなくなる。こういった潮流から今後、病院によっては TOEIC の点数を基準に給与にインセンティブがつくなど、採用や人事にも影響してくると思われます。



私は日本の病院で4年勤めた後、青年海外協力隊に参加し理学療法士としてアフリカのマラウイ共和国でリハビリテーションに携わっていました。今はカンボジアの病院で勤務し、現地スタッフの管理業務と資材等の調達部門のマネジメントが主な仕事です。海外に出て行くことや様々な人に出会うことができ、多くのスキルや経験、価値観を得ることができます。絶えず刺激があり、現地医療の発展に貢献できるだけでなく、自分のキャリア形成にも繋がるのが醍醐味です。

社会人になると思うように時間が取れないのが現実。すぐに外国に行くことがなくても、英語を通じて海外との接点を持ち、興味を広げ、可能性の種をまいておく。これが医療者として唯一無二のキャリアを歩む布石となるでしょう。

はり師・きゅう師

2016年鍼灸学科卒業生

すずきあつし  
鈴木淳志さん

1993年、大阪府生まれ。桜塚高校から本校に進み、野球コース、鍼灸学科を卒業。埼玉医科大学鍼灸臨床学研修修了後、診療所に勤務。2017年より東アフリカ・セーシェル共和国のクリニックで院長として勤務し、2020年には現地で治療院を開業した

VOICE

医療に限らずどんな仕事でもそうですが、英語ができる人とうでない人では、将来のキャリアの幅に圧倒的な差がつくと思います。というのも、英語が話せることで、働ける国、世界は広がり、日本から出る機会を手に入れることができるからです。そして行く先々の現地の文化や、人とのつながりが、チャンスを大きく広げてくれます。

私は今、東アフリカのセーシェル共和国で治療院を営んでいます。患者様の出身地域は本場に様々です。6割は現地の人ですが、残りの4割はアメリカ、ヨーロッパ、アフリカ、中東……世界中の老若男女が治療を求めてやってきます。英語が話せることで、皆さまへ日本の鍼灸技術を提供させていただくことができます。

日本の鍼灸のスキルは高いと思いますし、海外における鍼灸治療の認知度は高いので、日本の鍼灸師は英語を学んでどんどん外に出ていくべきです。日本人の真面目な気質が、海外では重宝されて、信頼につながるはずです。

私は在学中、海外で働くことに憧れ、自分で外部の英会話学校に通って一人で英語を学んだので、お金も、移動のための時間もかかりました。当時、もし「英語×医療」の学びがあれば履修していたと思います。同じ学校の中で英語が学べて、しかも同じような目標を持った仲間がいる。お互いに切磋琢磨できるチャンスがあることは素晴らしいと思います。そのチャンスを活かすことができるかどうかは、全てあなた次第です。

DOUBLE  
LEARNING

## 英語×医療



英語

×



医療

## カリキュラムのしくみ

1年目は外国語学科に入学し、英語でのコミュニケーション力を基礎から磨きます。1年目は10週間、2年目は4週間の海外留学が可能です。2年目は、午前中は外国語学科の授業を受け、午後は医療系学科(理学療法学科、柔道整復学科、鍼灸学科のいずれか)の授業を受ける“二階建て”の時間割。英語力のベースが出来上がった3年目以降は医療国家免許取得に向けての勉学に専念します。

医療の世界にも「メイド・イン・ジャパン」のブランドがあります。日本人の理学療法士、柔道整復師、鍼灸師の丁寧できめ細やかな仕事は、世界のどこに行っても通用するクオリティだと言われています。

近年、日本の医療技術を求める外国人の患者が増えていることもあり、各医療機関では英語が話せる医療スタッフのニーズが急速に高まっています。

このカリキュラムは、外国語学科で英語の習得を目指しつつ卒業後には理学療法士、柔道整復師、鍼灸師の国家免許を得られるように構成されています。同じ十三キャンパス内で両学科の授業を受けられるため、移動時間のロスもありません。

外国語学科の授業では、一般的に英会話の他に医療現場を想定した英会話や医療関連記事のリーディング、医療用語を使ったメールのライティングなど、これからの時代の医療人に求められる英語力もしっかり身につけます。

医療国家免許や英語の語学力は、どちらも身につけてしまえば一生ものの武器。その両方を一気に習得できる貴重なチャンスがここにあります。

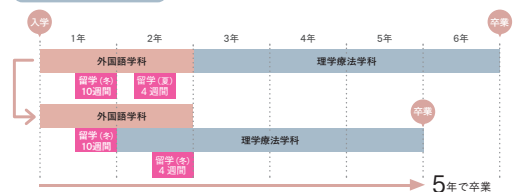
## 学びのポイント KEY POINTS

## ① 「1年早く」卒業できる。

医療系学科(3~4年制)と外国語学科(2年制)を別々に卒業した場合と比べ、1年早く卒業することができます。

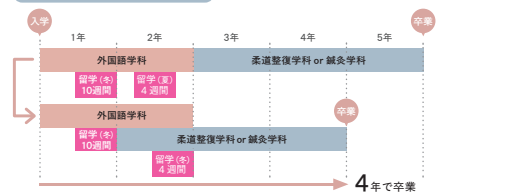
また、医療国家免許と専門的な英語スキルの両方取得することのできるカリキュラムを有する学校は、国内に類がありません。

理学療法学科を選択する場合



※ 1年目の冬に10週間、2年目の冬に4週間の海外留学が可能です。

柔道整復学科／鍼灸学科を選択する場合



※ 1年目の冬に10週間、2年目の冬に4週間の海外留学が可能です。

## ② もれなく適用される大幅な減免。

「英語×医療」の履修者には、全員に大幅な納付金の減免を適用。外国語学科1年分の授業料、施設設備費、医療系学科の入学金をあわせて129万円を減免します。

